

問い合わせ先 TEL : 099-250-9800
警備救難部
救難課長 大茂 (内線 3250)

平成22年4月23日
第十管区海上保安本部

マリンレジャー安全推進集中活動の実施について

第十管区海上保安本部では、マリンレジャー事故の未然防止及び死者・行方不明者の減少を図るため、マリンレジャー活動が活発となるゴールデンウィークから夏季において、「マリンレジャー安全推進集中活動」を下記のとおり実施いたします。

記

1 期間

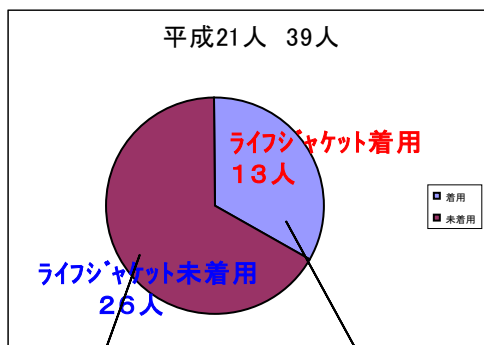
- (1) ゴールデンウィーク安全推進活動
平成22年4月29日(木)～同5月5日(水)
- (2) 夏季安全推進活動
平成22年7月1日(木)～同8月31日(火)

2 重点実施事項

「自己救命策3つの基本」の推進

- ※(1) ライフジャケットの常時着用
- (2) 防水パック入り携帯電話など連絡手段の確保
- (3) 118番の有効活用

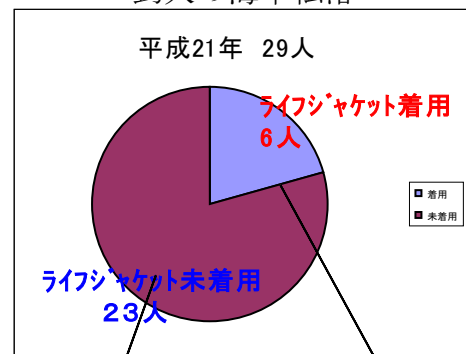
船舶からの海中転落



死者・行方不明者 11人
生存率 58%

死者・行方不明者 0人
生存率 100%

釣人の海中転落



死者・行方不明者 13人
生存率 43%

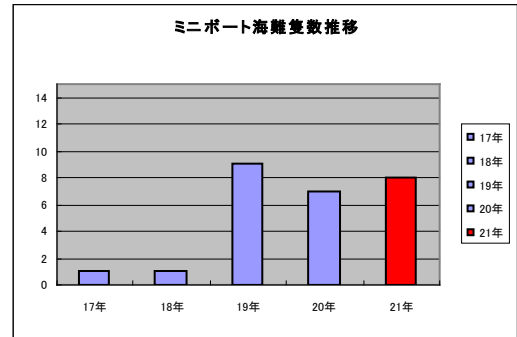
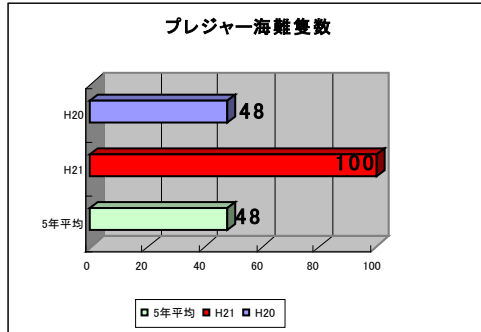
死者・行方不明者 0人
生存率 100%

3 マリンレジャーに係る海難等の特徴（平成21年）

(1) プレジャーボート海難

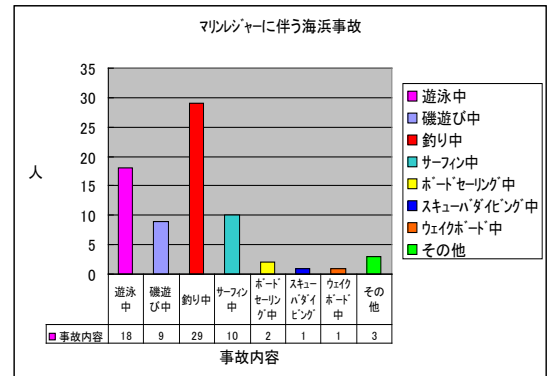
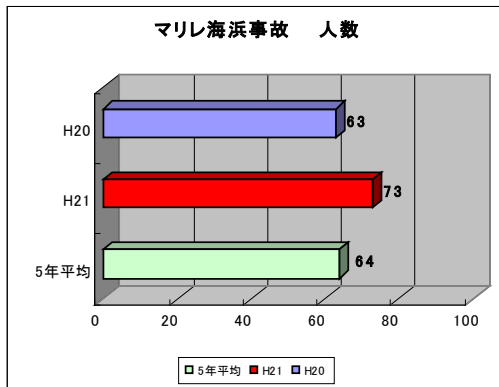
イ 体験学習中のカヌーの漂流・転覆、流木による推進器障害等により海難隻数100隻と増加した。

ロ ミニボートによる海難の漸増傾向



(2) 海浜事故（平成21年）

海浜事故者数73人、内訳は、釣り中（29人）及び遊泳中（18人）で約7割を占める。



「重大海難」

平成21年5月27日の昼頃、鹿児島湾内において、体験学習中の約20隻（生徒約50人が乗船）のカヌーが、折からの強風により沖合いに流され又は転覆し、そのうち数隻が一時行方不明となり、巡視船・航空機等により捜索・救助された。



4 安全推進対策

(1) 周知啓発活動

イ キャンペーン活動

- (イ) 鹿児島中央駅AMUビジョンによる放映の実施 (4/29～5/5・7/17～8/8予定)
- (ロ) いおワールドかごしま水族館における広報活動の実施 (7/3予定)



AMU 放映状況



水族館での活動状況

ロ MICS・うみまる通信等による安全情報の提供

気象海象の現況・離岸流・リーフカレント・ダウンカレント・あびき情報等の提供

(2) 事故者の救助対策

イ 海難即応体制の強化

機動救難士の即応体制の確保

さつま潜水土とヘリ巡搭載機による海浜パトロールの実施

ロ 民間救助組織との連携

水難救済会等との合同訓練等の開催

水難救済会・警察・消防等との合同パトロールの実施

ハ 中学生等若年齢層を対象とした海猿教室・出前講座

昨年のカヌー海難を踏まえ、各県教育委員会への「海猿教室」「出前講座」の活用促進の働きかけ

心肺蘇生法・着衣泳法・身近なものを利用した救助方法の指導



救難所との訓練状況



海猿教室の状況